

第3章 計画の推進

教育委員会が、第2章で掲げた推進方策に沿って、医療、福祉、労働等の関係部局との連携を図りながら、具体的施策を展開していきます。

計画の進行管理については、目標に対する達成状況を把握するとともに、各年度の進行状況を調査・分析し、その時点におけるさまざまな要因による変化や国の動向等を踏まえ、必要に応じて計画の見直しを行います。

県障害者施策審議会、県発達障害者支援体制整備推進協議会、県障害者雇用促進連絡会議、県特別支援教育連携協議会などの関係会議等で、進捗状況の確認や評価を実施することで、PDCAサイクルによる計画の進行管理を確実に進めていきます。

【推進方策の目標】

1 幼稚園・保育所、小中学校における特別支援教育の推進

- (1) 幼稚園、小中学校における特別な支援を必要とする幼児児童生徒についての個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成率⇒100%（30年度）

【現状】 個別の教育支援計画

幼稚園：88.2%〔全国 53.0%〕（25年度）

個別の教育支援計画（特別支援学級）

小学校：97.6%〔全国 93.6%〕（25年度）

中学校：97.1%〔全国 94.0%〕（25年度）

個別の教育支援計画（通常の学級）

小学校：77.6%〔全国 69.9%〕（25年度）

中学校：68.0%〔全国 60.7%〕（25年度）

個別の指導計画

幼稚園：92.6%〔全国 67.2%〕（25年度）

個別の指導計画（特別支援学級）

小学校：99.4%〔全国 99.2%〕（25年度）

中学校：99.3%〔全国 98.0%〕（25年度）

個別の指導計画（通常の学級）

小学校：78.4%〔全国 80.4%〕（25年度）

中学校：70.0%〔全国 64.3%〕（25年度）

※ なお、保育所における個別の教育支援計画等の作成については、実態把握を行い、今後の在り方について検討します。

- (2) 中学校に在籍する特別な支援を必要とする生徒についての支援情報を高等学校等へ引き継ぐことについて、支援情報の引継ぎ率⇒前年度に比べて増加する。（毎年度）

【現状】 新規の取組

- (3) 特別支援教育に関する研修会への参加率⇒100%（30年度）

【現状】 幼稚園：80.6%〔全国 89.1%〕（25年度）

小学校：78.6%〔全国 87.3%〕（25年度）

中学校：65.9%〔全国 76.1%〕（25年度）

- (4) 特別支援学級担当教員等の特別支援学校教諭免許状の保有率⇒全国平均を上回る。
【現状】 22.5% [全国 30.9%] (24年度) (30年度)
- (5) 小中学校と特別支援学校との教員の人事交流⇒毎年継続する。(毎年度)
【現状】 実施している。(25年度)

2 高等学校等における特別支援教育の推進

- (1) 中学校に在籍する特別な支援を必要とする生徒についての支援情報を高等学校等へ引き継ぐことについて、支援情報の引継ぎ率⇒前年度に比べて増加する。(毎年度)
【現状】 新規の取組
- (2) 高等学校等における特別な支援を必要とする生徒についての個別の教育支援計画又は個別の指導計画の作成率⇒100% (30年度)
【現状】 個別の教育支援計画：5.4% [全国 25.9%] (25年度)
個別の指導計画：6.0% [全国 29.8%] (25年度)
- (3) 特別支援教育に関する研修会への参加率⇒100% (30年度)
【現状】 高等学校：79.3% [全国 66.9%] (25年度)
- (4) 高等学校と特別支援学校との教員の人事交流⇒毎年継続する。(毎年度)
【現状】 新規の取組

3 特別支援学校における特別支援教育の推進

- (1) 特別支援学校における教育諸条件の整備、及び教育内容の充実⇒推進方策の内容をそれぞれ検証し、着実に進める。
- (2) 特別支援学校教諭免許状の保有率⇒全国平均を上回る。(30年度)
【現状】 62.8% [全国 70.8%] (24年度)
- (3) 小中学校、高等学校と特別支援学校の人事交流⇒毎年継続する。(毎年度)
【現状】 小中学校：実施している。高等学校：新規の取組
- (4) 県立特別支援学校の設置⇒緊急性の高いところから、順次新たな学校の設置を検討
- (5) 肢体不自由特別支援学校でのスクールバスの計画的整備⇒スクールバスの乗車時間を60分程度とする。(30年度)
【現状】 60分以上乗車している人数 174人 [乗車総数 454人] (25年度)
- (6) 知的障害特別支援学校でのスクールバスの計画的整備⇒スクールバスの乗車待機者の解消をめざす。(30年度)
【現状】 待機者のいる学校は6校で、待機者数 96人 (25年度)
- (7) 知的障害特別支援学校でのスクールバスの計画的整備⇒スクールバスの補助席使用の解消をめざす。(30年度)
【現状】 補助席を使用しているバスは、25台 (25年度)

4 関係機関と連携した就労支援

- (1) 特別支援学校高等部卒業生の一般就労の就職率⇒50% (27年度)
【現状】 39.6% [全国 27.7%] (24年度)

【現状】のデータについて

- 1 (1)、(3)、2 (2)、(3)：平成 25 年度特別支援教育体制整備状況調査（文部科学省）より
- 2 (4)、3 (2)：平成 24 年度特別支援学校教員の特別支援学校教諭等免許状保有状況等調査（文部科学省）より
- 4 (1)：平成 25 年度学校基本調査（文部科学省）より
- 上記以外：県教育委員会特別支援教育課調べより